

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	第 2 回相模原市景観審議会		
事務局 (担当課)	街づくり支援課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 9 2 5 2 (直通)		
開催日時	平成 2 3 年 1 1 月 1 日 (火) 1 8 時 0 0 分 ~ 2 0 時 0 0 分		
開催場所	会議室棟 1 階 第一会議室		
出席者	委員	6 人 (別紙のとおり)	
	その他	1 人	
	事務局	5 人 (まちづくり計画部長、街づくり支援課長、他 3 人)	
公開の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可 <input type="checkbox"/> 不可 <input type="checkbox"/> 一部不可	傍聴者数	0 人
公開不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	(1) 開会  (2) 議題  公共施設サイン整備指針の改正について  (3) その他 (報告)  ・ 景観法に基づく届出の状況 ・ 景観まちづくりの取り組み状況等		

## 審 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言)

### (1) 開 会

田口会長、まちづくり計画部長あいさつ

### (2) 議題

公共施設サイン整備指針の改正について、事務局より説明を行った。

○設置年月日と管理者、連絡先、管理番号をサイン盤面に追記してはどうか。

●案内サインについては、管理課の表示を素案の中に明記している。地域サインについても、同様の記載をすることとする。

○素案に「難解な用語にはふりがなを…」とあるが、難しい読み方の地名等が多いので、なるべくふりがなを振ってほしい。

●読みにくい固有名詞についてはふりがなを振っていきたい。

○案内・誘導サインについては、灯りの下への設置など夜間についての配慮も試みてはどうか。

●とくに夜間にも誘導を必要とする施設については検討したい。

○過去に相模大野駅前では照明付のサインを採用しており、夜間の見え方について検討した結果、白抜き文字となっている。

○施設名と併せて、施設までの距離を入れることで分かりやすさ、移動のしやすさにつながると思う。

●矢羽の誘導サイン以外の誘導サインについては記載が無いので、調整する。

○地図の縮尺について、どのような考え方がか。

●目安はあるが、本指針では具体的な数値を示していない。何を案内したいかを考慮し、縮尺を決めるという意図がある。

○地域外から来た人に分かりやすいよう、キーマップは、市の概略図的なものにしたほうが良い。

●小さい範囲でも市の概略が分かり易いような地図について検討する。

○定期点検はいつ、誰が行うのか。

●維持管理課が年に一度、定期点検を行う。災害時など非常時には現在も点検を行っている。

○点検のチェックシートにより詳細な項目を用意しておいてはどうか

●チェックシートについては、指針の運用開始後に、実際使ってみて見直していく方針である。

○サインの清掃は、市民参画を検討してみてはどうか。

- 公園の清掃は、市民参画のアダプト制度を活用している。今後サインについても、市民参画を検討していきたい。

(カラー展開について)

- 事務局では、ベースカラーをダークブラウンに統一し、区のマークはモノクロで入れる方向性で検討しているが、いかがか。
- モノクロがすっきりしている印象である。
- 広報などでの区カラー使用による周知は良いと思うが、サインはモノクロの方が良い。
- ベースカラーの茶色と文字等の白とのコントラストをよりつけたほうが良い。
- 発行物などのプリントメディアには、区のカラーを使っていく方針なのか。
- 市民の目に触れる部分については区のカラーを使っていくという市の方針である。
- 情報の優先順位を考えると、区のマークの重要度は低いため、視認性が低いとしてもそれぞれ区の色を使用しても良いのではないか。
- 区のマークをサインに入れる必要があるのか。
- 面積の大きな面に、区のカラーを使用することには反対だが、一部に区のカラーを使用してはどうか。いろいろな場面で使用することで、市民の区カラーへの認識を深めることができる
- 区のマークの反転使用は可能か。
- 変形等、加工しての使用は不可である。
- 視認性やデザインを考慮して、区の色をポイントで入れることは良いのか。
- ベースカラーを検討することで区の色の見え方の問題は解決される。区の色は明度が高いので、ベースカラーの明度を落とすだけでも、見やすくなる。決められたカラーは生かした方が良い。

### (3) その他 (報告)

景観法に基づく届出の状況と景観まちづくりの取り組み状況等について、事務局より説明を行った。

- 屋外広告物を集約するという藤野での取組みは、理想的で、他地域にも取組みが広がることを願う。ヨーロッパ郊外でも同様の取組みがある。
- 地域からそのような課題が出たということに意味がある。

以 上

## 第2回相模原市景観審議会委員出欠席名簿

	氏名	所属等	備考	出欠席
1	田口 敦子	多摩美術大学 美術学部 教授	会長	出席
2	中嶋 猛夫	女子美術大学 芸術学部 教授	副会長	出席
3	野澤 康	工学院大学 建築学部 教授		欠席
4	志田なや子	弁護士法人 まちだ・さがみ総合 法律事務所 相模原支部 弁護士		出席
5	永田 健治	社団法人 神奈川県建築士事務所 協会 相模原支部 副支部長		出席
6	湊 弘紀	公募委員		出席
7	岡崎 恵子	公募委員		出席
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				